

三館連携10周年記念事業「地域と暮らしをおいしくする図書館（スパイス）」開催

津山市立図書館、美作大学図書館、津山工業高等専門学校図書館の三館は、平成20年4月に相互協力に関する協定を締結しました。この協定の10周年を記念して、平成30年1月20日(土)に美作大学の美作学園創立100周年記念館で記念式典を開催しました。



岡本真氏記念講演の様子

第一部の記念式典では、津山市長、美作大学学長、津山高専校長による祝辞をいただき、また、第二部では、アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役の岡

総社市教育委員会では、「総社つ子輝きプラン」だれもが行きたくなる学校づくり」を中心にお話を伺いました。その中で、平成22年度に始めた「だれもが行きたくなる学校づくり」により、子どもたちの学校適応感の向上や、良好な人間関係づくりが図られています。また、自尊感情や規範意識の向上により、落ち着いた学習環境が構築されることも、児童



総社市教育委員会での視察の様子

平成30年2月6日(火)、学力向上について行政視察のため総社市教育委員会と総社西中学校を訪問しました。

教育委員の活動報告
総社市へ教育行政視察



総社西中学校での視察の様子

生徒の主体的な学びが推進されたことにより、学力向上が見えはじめてきたこととでした。そして、多様な現代社会の中で、生きる力を育むために必要となる確かな学力の向上を目指すことにより、人間力日本一の総社つ子の育成を家庭・地域と連携・協働しながら目指しておられます。最後に、総社西中学校を訪問しました。生徒数778名、教職員70名という大規模校でしたが、落ち着いた学習環境の中、授業に集中し、互いに学び合う姿がありました。この度の視察で得たことを、教育委員会と共有し、津山市の教育の推進につなげていきたいと思います。

加茂中学生だっぴ



笑顔で語り合っているグループ

平成30年2月21日(水)、加茂中学校において、中学生が大学生や地域の大人と語り合うキャリア教育プログラム「中学生だっぴ」を市内で初めて開催しました。加茂中2年生40人と岡山大学や美作大学の大学生22人、企業経営者や地域おこし協力隊などの地域の大人22人が参加。7、8人のグループに分かれ、「人と関わるときに大切にしたいこと」「勉強する意味って?」「どんな大人になりたい?」など6つのテーマについて語り合いました。多様な生き方や価値観を知ったり、これまでの自分を

平成29年度 幼小中学校卒業式 卒業おめでとございます。

卒業式・卒業者数	幼稚園	卒業式	3月15日 木
園児数	227名		
小学校	卒業式	3月16日 金	
児童数	九六六名		
中学校	卒業式	3月13日 火	
生徒数	九八五名		



中学生の意見を熱心に聴いているグループ

振り返り、社会の中の自分を津山で育っている自分を意識することで、子どもも大人も「濃い時間」になったことと思います。



パネルディスカッションの様子

本真氏を講師に、記念講演「地域をひらく未来の図書館」を行いました。公立(津山市)、私立(美作大学)、国立(津山高専)という三者の連携と物流など全国的に珍しい取り組みを「津山モデル」として評価いただきました。また、パネルディスカッションを行い、コーディネーターとして岡本氏、パネリストには堀川涼子氏(美作大学社会福祉学科学准教授)、杉山明氏(津山高専総合理工学科学教授)、野村雅之氏(作陽高校校長)、加藤結花氏(津山市地域おこし協力隊)、大河原信子氏(津山市立図書館副館長)が参加して図書館を使った地域の活性化などについて議論を行いました。

図書館ボランティアまつり
 とき 平成30年3月25日(日) 午前10時～午後4時30分
 ところ 津山市立図書館
 内容 「あいあいスマイルのおはなし会」「民話のつどい」「わくわくおはなしランド」「本の修理、装備体

津山市立図書館 開館40周年記念事業を開催します
 津山市立図書館は、昭和53年4月1日に図書館条例を制定し、旧市役所新館に開館、平成11年にアルネ津山4階に移転開館しました。平成30年4月に開館40周年を迎えることを記念し、記念行事を開催します。

40周年記念講演会
 とき 平成30年4月22日(日) 午後2時～3時30分
 ところ 津山市立図書館
 演題 記念講演会「こどもたちに夢を、ふるさとに愛を」
 講師 北川真也氏(株式会社フアシアノ岡山スポーツクラブ取締役社長)

図書館総合展 地域フォーラム in 津山
 とき 平成30年5月19日(土) ところ 美作大学(美作学園創立100周年記念館)

また記念企画として図書館40周年記念展示(図書館展示コーナー)、講演会、夜の図書館ライブラリーコンサートなど多彩な催しを企画しています。問い合わせは、市立図書館 ☎ 24 2919

験「ストーリーテリングのたのしみ」「小学生のための物語をたのしむ会」「しおりをつくらう」「布えほんであそぼう」



発行 津山市教育委員会 (編集 学校教育部教育総務課)
 〒708-8501 津山市山北520番地
 TEL 0868-32-2112 (直通) FAX 0868-32-2157
 E-mail: kyouiku@city.tsuyama.lg.jp
 教育委員会関係課： 教育総務課 学校施設課 学校教育部 保健給食課 生涯学習課 図書館 文化課 津山市史編さん室 スポーツ課 こども課 歴史まちづくり推進室



布えほんボランティア作成

授業にICT機器が
やってきました

津山市では、本年度から授業におけるICT機器の整備を計画的に始めています。本年度は、林田小学校、佐良山小学校、成名小学校の小学校3校と中道中学校、久米中学校の中学校2校をモデル校として授業実践を進めてきました。モデル校には、教室に固定設置したプロジェクターとデジタル教科書を入れた先生のタブレット型パソコン、無線LAN環境を整備しました。



中道中学校での授業風景

モデル校では研究会を開催し、授業の様子を公開し効果的な使い方について実践を広めています。モデル校の

うち津山市立成名小学校では、平成30年1月23日に授業研究会を開催しました。



成名小学校での授業風景

1年生の算数の授業でしたが、デジタル教科書をプロジェクターで拡大して見やすく写したり、図をアニメーションのように動かして説明したりし、1年生の児童は興味深く見ていました。

さらに、プロジェクターで写した画面上に電子ペンで書き込むこともできるため、児童が実際に操作したり書き込んだりする場面もありました。また、今までと同じように黒板にチョークで書いた紙を貼って提示したりするなど、勉強の内容や場面に合わせた使い方がされており、メリハリのあるわかりやすい授業となっていました。



危機管理について熱心に研修を受けている様子

園児の安全を確保するために、定期的な訓練のほか、職員同士や保護者、地域の方との情報共有や連携を平素から図っていくことの大切さを学び、現在各園で行っている対策について見直しを図る機会になりました。

保育園(所)・認定こども園・幼稚園合同研修『特別支援教育に関する研修会』を開催

平成30年2月19日(月)すこやかこどもセンターにおいて、保育園(所)・認定こども園、幼稚園の保育者、関係者約60人を対象に、特別支援教育に関する研修会を開催しました。「発達障がいのある子ども



特別支援教育について熱心に学んでいる様子

参加者からは、「発達障がいの集団の中での子ども側の気持ち、保護者側の気持ち」を聞くことができ納得できた」「日々の言葉掛けを見直し、認める言葉を増やしたい」「明日から保育に取り入れたい」などの感想が寄せられており、保育の在り方を見

の理解に向けて」と題して、川崎医療短期大学 医療保育科 重松孝治氏に講演をしていただきました。重松先生から、発達障がいの一つひとつの特性に対応した具体的な手立てや言葉掛けをはじめ、環境の在り方、周りの子への対応、保護者支援など多岐にわたる事項について、具体例を交えて丁寧に指導いただきました。

した。本年度は、まずモデル校5校でスタートしましたが、残りの30校にも平成31年度までに計画的に導入し積極的に活用していく予定です。機器の導入に合わせて授業の進め方についてもさらに研究し、児童生徒にとってわかりやすい授業を続けていくよう考えています。

「本に出てくる料理教室」を開催

平成30年2月4日(日)津山東公民館で、つやまっ子読書プラン推進事業実行委員会との共催により、小学校5・6年生、中学1・2年生を対象とした「本に出てくる!料理教室」を開催しました。



高校生に教えてもらいながら熱心に取り組む様子

直しながら、きめ細やかな指導・支援について学びを深めることができました。

広野公民館落成式



広野公民館

平成30年1月28日(日)、広野公民館が落成しました。新しい広野公民館は、旧公民館の老朽化により移転新築工事を行ったもので、広野地区の地域振興・生涯学習活動の拠点となる社会教育施設です。この公民館は、岡山県産材のほか、外壁に焼杉を使用するなど木のぬくもりと和の雰囲気を生かした建物となっています。地元の皆さんをはじめ、多



完成したいちご水とタフィー

津山東高等学校食物調理科の生徒にお手伝いいただき、「赤毛のアン」にてくるタフィーといちご水づくりを挑戦しました。参加者からはアンとダイアナの気持ちなどが分かってうれしかったという意見があり、本に対する興味も深まりました。また、今回は生徒にとって身近な「パレンティン」にあわせて実施したため、普段本を読まない子どもも気軽に本に触れ、物語を読むことの楽しさ等を知ることができました。

保育園(所)・認定こども園・幼稚園合同研修『危機管理に関する研修会』を開催

くの方々にご利用いただきたいと思えます。問い合わせは、広野公民館 ☎ 29 0380



広野公民館

田邑公民館多目的アリーナ落成式

平成30年1月28日(日)、田邑公民館多目的アリーナが落成しました。長年、親しまれた旧田邑小学校体育館の跡地に建設され、公民館本館も屋根や天井などの一部改修を行いました。多目的アリーナは延床面積が216㎡で、濃紺色の壁が建物を引き締めています。ソフトラレー・パドミントン、卓球など、簡易なスポーツ、

平成30年2月8日(木)、すこやかこどもセンターにおいて、保育園(所)・認定こども園・幼稚園の保育者ら約60人を対象に、危機管理に関する研修会を開催しました。

「保育施設における危機管理について」の演題で、津山市役所 危機管理室 中村隆義氏に講演をしていただきました。中村氏から、「子どもの命を守るためにできること」について、まず、過去の日本の大災害の事例を挙げて映像を見たり、その時の被害状況や対応を知ったりすることで、日頃から防災について準備し、様々な状況に応じて、瞬時に判断して対応できるように危機意識をもつことの重要性を改めて認識しました。

また、津山市における地震被害の想定にふれながら、台風、水害、地震などの災害に対する対応を具体かつ丁寧に教えていただきました。途中、「クロスロード・ゲーム」を通して、実際に自分ならどうするか、他の人の意見を聞きながら災害時の対応を考える機会もありました。

レクリエーション事業に利用でき、災害時には避難施設としても活用されます。地元の皆さんをはじめ、多くの方々にご利用いただきたいと思えます。問い合わせは、田邑公民館 ☎ 28 0902



田邑公民館多目的アリーナ

